

会 議 録

全部記録 要点記録

| | |
|------------------------|---|
| 1 会議名 | 第4回姫路市障害福祉推進計画策定会議 |
| 2 開催日時 | 令和6年2月1日（木曜日）10時00分～12時00分 |
| 3 開催場所 | 姫路市総合福祉会館 5階 第1会議室 |
| 4 出席者又は欠席者名 | 策定会議委員 出席14人（欠席2人）、事務局 |
| 5 傍聴の可否及び傍聴人数 | 傍聴可（5人）、傍聴人 2人 |
| 6 議題又は案件及び結論等 | <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 計画の最終取りまとめ（案）について |
| 7 会議の全部内容又は進行記録 | <p>詳細については別紙参照</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | (事務局進行) 1 開会 |
| 事務局 | (座長進行) 2 報告事項 ・市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について 3 協議事項 ・計画の最終取りまとめ（案）について |
| 座長 | 事務局説明に関連して、姫路市地域自立支援協議会当事者部会での意見について副座長から紹介いただきたい。 |
| 副座長 | 中間取りまとめを受けて、障害者や支援者が自由に集まれるタウンミーティングを実施した。一部要約しておりますが、資料にあるような意見があった。 ・タウンミーティング（姫路市地域自立支援協議会当事者部会）での意見について |
| 座長 | それでは、パブリック・コメントについて論議していきたい。 |
| A委員 | タウンミーティングでの意見について、医療的ケアが必要な児童の外出で、ヘルパーと訪問看護を2箇所探す必要があるというのは、医ケア児コーディネーターがいないからか。 |
| 副座長 | 介護保険と違い、訪問介護（ヘルパー）は障害福祉サービス、訪問看護は医療、と、別々になっているため、相談支援専門員が訪問看護についてコーディネートするのが難しい。 |
| A委員 | 相談支援事業所が、職域外と考えているのか。 |
| 副座長 | 相談支援専門員によって差があるが、医療と福祉の連携が進んでいないためと思われる。 |
| A委員 | パブリック・コメントについて、聴覚に関する意見が多い理由は。 |
| 事務局 | 3件とも聴覚障害の関係の方から提出されたためである。 |
| B委員 | もっと障害者の意見を聞いてほしい。提出された市民意見の2番の実態意向調査について、すべての方への説明会の開催はそぐわないとあるが、視覚障害者・ |

| | |
|-----|--|
| C委員 | <p>聴覚障害者については、特に必要と感じる。聴覚障害者から意見が出ていることでそう感じた。</p> <p>支援者が少ないことについて、ボランティアが高齢化し後を継ぐ人がいない。また、活動費がないことは、多くの障害者福祉団体での課題だと思う。市民意見の3番のような方法などで、ボランティアや支援の募集を市で広報してほしい。</p> <p>市民意見の13番、16番について、具体的に、前向きに実施してほしい。できない場合、具体的な理由を明示すれば、代替案も出てくると思う。</p> <p>市民意見の16番については、現行制度の理解不足があると感じる。ネット119で既に体制があるので、現行制度の利用の中で、さらにブラッシュアップしていればよい。</p> <p>市民意見の28番について、手話通訳設置事業で直接クレームは聞いていない。現行制度のPRが必要である。</p> <p>手話通訳者の高齢化について、手話通訳だけでなく同行援護も他の福祉サービスも人材確保が難しくなっている。</p> |
| D委員 | <p>視覚障害者は、パブリック・コメント自体を知らない。読み込むことができないため、視覚障害者には参加のハードルが高い。会場に集めて説明するなどしないと無理なことが初めてわかった。次回は視覚障害者を集めた説明会をしてパブリック・コメントに参加できる体制を作りたい。事務局でも認識していただきたい。</p> |
| C委員 | <p>視覚障害者に関連して、計画(案)30ページの「情報提供の充実」について、障害福祉課が作成している「障害福祉のしおり」に音声コードを付けてほしい。</p> <p>市と団体で協力して視覚障害者のスマホ講習会をしている。スマホで音声入力ができるので、音声入力でのパブリック・コメントの意見の受付を検討してほしい。</p> |
| 座長 | <p>意見募集の収集及び発信方法について意見があった。</p> |
| 事務局 | <p>パブリック・コメントの発信及び収集方法について検討します。</p> |
| 副座長 | <p>パブリック・コメントの説明会について、今回、タウンミーティングとして説明と意見募集の機会を作った。姫路市地域自立支援協議会においても、当事者部会を継続して行っていくので参加いただきたい。</p> |
| D委員 | <p>音声入力などを使うにはiPhoneが必要だが、生活保護受給者や高齢者は購入できない。施策を考えてほしい。</p> |

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>アイフォーンは日常生活用具として認められないが、生活保護受給者が取得できないのは検討課題である。</p> |
| E 委員 | <p>姉に障害があるが、母はパブリック・コメントについて知らなかった。一般に生活している者にはわかり難いので、意見が少ないと思う</p> |
| 座長 | <p>パブリック・コメントの周知が不十分、認知が難しいという関連の意見である。</p> |
| F 委員 | <p>重症心身障害者が多い団体に所属している。本人の意思表示は無理な方が多い。また、重度といっても個別に症状が違うので大きい計画には意見しにくい。 コミュニケーションが取れず、動けないので、地震など災害時の避難についてフォローの態勢が必要。計画で細かいところまで書くのは難しいと思うが、今後の課題と感じた。</p> |
| 事務局 | <p>一般論として、災害の種別によって、全てについて避難が必要となっていない。地震では耐震化が重要で、姫路市でも補助金等がある。まずは、家が安全な場所であることが大事。落ち着いてから福祉避難所に避難していただければよい。防災部局とも共有していく。</p> |
| G 委員 | <p>通訳者の確保が難しいという意見は聞く。手話通訳者が増えるようPRが必要。若い人の協力が必要。若い人が増えたら、市民意見の23番にある聴覚障害者の放課後等デイサービスもできてくると考える。 市民意見の25番について、手話通訳設置事業は何人の通訳者がいるのか。</p> |
| 事務局 | <p>職員は、委託で4人いる。</p> |
| C 委員 | <p>基本、常時2名が配置されている。4人が交代で回している。</p> |
| 座長 | <p>全体について意見はあるか。</p> |
| H 委員 | <p>第3回会議の時に話した西宮市の計画を送っていただいたので、ご希望あればお渡しする。 姫路市障害福祉推進計画策定会議開催要領の所管事項にある、姫路市の障害福祉の現状及び課題について話したい。 まず、シェアA c t. えんについて、姫路城の南でR4年から障害福祉施設等で製作された物品の販売及び障害者の作品展をしているが、R6年3月末で閉鎖されると連絡があった。作品展の場所がなくなるのは、作品が展示されていた障害者・事業所等に申し訳なく思う。運営協議会で、閉鎖の理由や今後の商品や作品展についてどう考えているか、閉鎖の指示をされた方から説明がほしい。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>次に、R 5年度の姫路市の予算の仕組みについて、姫路市の民生費は県内の中核市と比べて低い。土木費は、県内の他の中核市と比べて高い。普通建設事業費も、県内の他の中核市と比べて高い。姫路市と西宮市の普通建設事業費の差が2万1千円高い、民生費の差が2万1千円低い。これを振り替えていただいたら金額ベースで110億円を民生費で使えるようになる。また、基金残高は高い。他の中核市並みにすると数百億程度使用可能になる。愛の基金も15億ほどあるので使える部分があると思う。</p> <p>障害者福祉費の伸び率について、鈍化傾向にある。一般財源が伸びておらず、医療・外出支援分野が他市と差がついてきている。そこで、障害者医療費助成制度について、対象者を拡充してほしい。移動支援については、報酬単価をあげてほしい。他市並みにしてほしい。</p> <p>タクシー料金助成の金額について、従来は身体障害者1・2級、下肢・体幹・視覚障害者に2万4千円を助成する制度しかなかったが、R 2年10月から知的障害者と精神障害者のある方に1万円を助成する制度が開始された。姫路市の財政状況・経済規模では、3万6千円くらいはできると思う。</p> <p>福祉有償運送制度の活用について、国立市が熱心に実施している。法改正で福祉有償運送をしているNPO法人等の車両管理、運行管理をバス会社・タクシー会社ができるようになっている。その費用負担の助成をしてほしい。姫路市では登録団体が3団体しかないが、同じくらいの規模の松本市は8団体、滋賀県大津市は7団体ある。国立市は法人に年間300万円補助がある。補助制度については、車両1台あたり年10万円補助が多い。姫路市で3台持っている法人が10か所できたら年間300万円でき、多くの方が助かると考える。バス会社やタクシー会社との協力も考えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>個々の事業として対応していく。</p> |
| 副座長 | <p>計画の今後のことについて、今日の会議でも情報アクセシビリティが大きなテーマになっていたことから、計画にわかりやすい工夫をしてほしい。</p> |
| B委員 | <p>計画18ページでピアサポーターの充実を図るとある。先日、保健所主催の会議でもピアサポーターのチラシを配布されていた。しかし、他都市と比べてピアサポーターが少ない。病院の協力が必要と思う。ピアサポーターは、当事者にとって説得力があり、重要なので、実施のために助成をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>予算についてはお答えできないが、ピアサポーターについては計画の中で進めていきたい。</p> |
| 座長 | <p>本日の会議で、当事者意見の汲み取りにくさについての意見が多く出た。今回、当事者部会でパブリック・コメントのタウンミーティングを実施したこ</p> |

とは一歩前進だと考える。タウンミーティングを継続・周知することで、さらに多くの方の意見を汲み取っていききたい。

他にご意見あるか。

他にご意見もないようなので、これで終わりとする。それでは、本日の会議で皆さんから出たご意見を踏まえて、計画の最終案を事務局でとりまとめてもらいたい。

最終案の確認については、座長の私に一任していただくということでよろしいか。

(一同 異議なし)

それでは後日私の方で計画の最終案を確認させていただき、その後事務局から委員の皆様へお送りできるように進めてまいりたい。

それではこれを持って本日の会議を終了する。